

創造的な復興へ



県政紹介
シリーズ ①

仙台空港民営化～さらなる発展と地域活性化を目指して

仙台空港は東日本大震災で甚大な被害を受けましたが、震災から約4カ月後には、国内定期便の運航を再開し、約半年後には国際定期便の運航再開や旅客ターミナルの完全復旧を果たして、震災からのいち早い復旧・復興の象徴となりました。

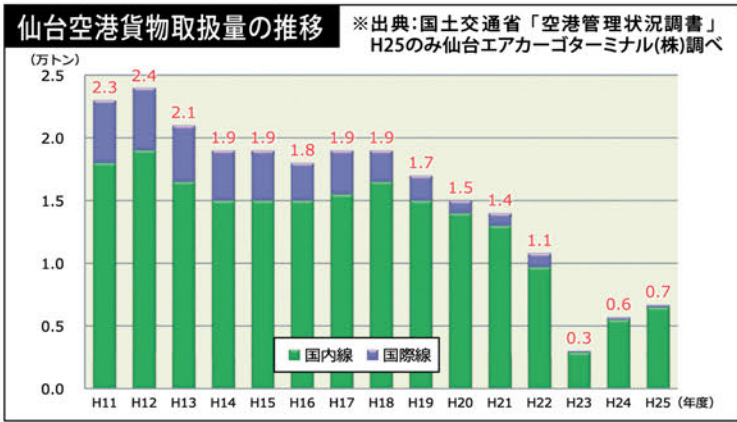
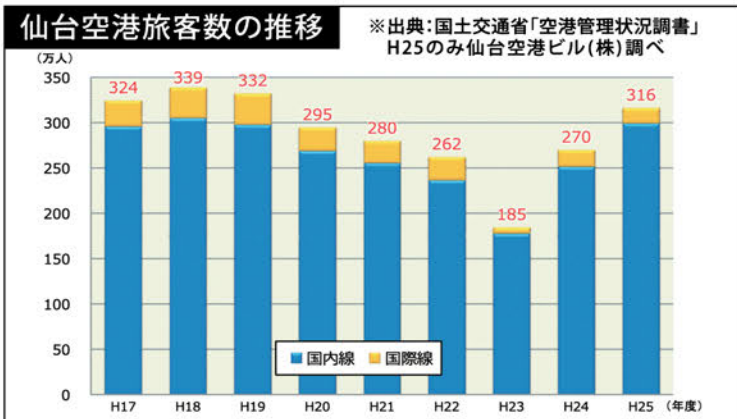
現在、県では、国の空港経営改革の動きに合わせ、仙台空港のさらなる発展と周辺地域の活性化を目指して、「仙台空港民営化」の実現に向けた取り組みを進めています。

仙台空港の現状

仙台空港は東北地方の空の玄関口として、国際線就航のための施設設備が充実しており、仙台駅からアクセス鉄道で最短17分、有料道路のインターチェンジからは自動車道で約5分、交通の利便性も良好で、周辺には多くの企業が立地しています。

震災前の仙台空港の旅客数と貨物取扱量は、それぞれ平成18年度の約339万人、平成12年度の約24万トンをピークに減少傾向にありましたが、さらに、東日本大震災で壊滅的な被害を受けたことにより、大幅に落ち込みました(グラフ)。

早い段階で国内・国際定期便の運航が再開し、旅客ターミナルビルも完全に復旧したことなどから、平成25年度の旅客数は約316万人まで回復しましたが、東北の拠点空港として、旅客数および貨物取扱量のさらなる増加が求められています。



仙台空港の民営化に向けて

近年、航空市場を取り巻く環境が大きく変化しており、それに伴って空港自体も経営改善に取り組みが必要が生じています。

そもそも、仙台空港など国が管理する空港は、国が空港基本施設を、第三セクターなどが旅客ビルや貨物ビルを、それぞれ運営・管理しており、空港全体の一体的かつ機動的な経営ができない状況にありました。

国は、このような状況を改善するため、平成25年6月に「民間の能力を活用した国管理空港等の運営等に関する法律」を制定し、これにより、空港の民間運営委託による一体的な経営が可能となりました。

県では、仙台空港を民間の柔軟な発想で一体的に経営することで、利便性の向上を図り、旅客数や貨物取扱量を増加させるとともに、空港周辺地域の活性化を促すため、民営化に向けた取り組みを積極的に進めていきます。

民営化を契機とした地域活性化

仙台空港の民営化と周辺地域の活性化には、空港に関わる人や企業、県や市町村などが連携協力していくことが大変重要です。

県では、これらの取り組みの機運醸成と情報発信を行うため、仙台空港および周辺地域の活性化に自主的に取り組んでいた方々で構成する「仙台空港600万人・5万トンの実現サポーター会議」を設置しました。このサポーター会議を継続的に開催しながら、旅客と貨物の新たな需要の掘り起こしや、空港周辺地域への産業集積を促進し、仙台空港の民営化を契機とした地域の活性化に取り組みしていきます。

これらの取り組みが、東北の国際交流や観光・ビジネスの拠点として仙台空港を一層発展させ、交流人口の拡大や周辺地域の活性化につながり、ひいては、本県の震災からの創造的復興に結びついていくものと期待しています。

… 空港および空港周辺地域の活性化が期待されます …

ビジネス利用を掘り起こそう

仙台空港国際化利用促進協議会幹事長
間庭 洋さん



官民の約150団体でつくる仙台空港国際化利用促進協議会は、空港の国際機能充実や利用促進に向け取り組んできました。仙台商工会議所の専務理事を務めながら、協議会の運営を支える間庭さん。仙台空港民営化について経済界の立場から効果を見据え側面支援する。

「民営化の実現により、これまで以上に運営の自由度が高まります。格安航空会社(LCC)など新規の航空会社の誘致や利用促進プロモーションなどがしやすくなり、その結果、ビジネスや観光の需要が高まります」

特に、宮城県が民営化30年後のビジョンとして掲げた年間利用者600万人達成のために、ビジネス利用者を掘り起こすことが重要だという。

「観光は、季節や曜日などで利用が大きく左右されてしまう面があります。仙台は学部で産学官連携の拠点性が高く、新幹線などを乗り継げば、近隣の県庁所在地へ1時間程度で行くことができるのが強み。便数が増え空港の利便性が高まれば、臨空エリアなどへの企業立地が加速されます」

東日本大震災で甚大な被害を受けた沿岸部の産業について「復興はこれから」と表情を引き締める。

「民間での運営は前例がないことで苦労する面もあるかもしれませんが、成功するよう地域を挙げてバックアップしていきます。民営の空港が復興を目指す地域のけん引役を担ってもらいたい」

第3回サポーター会議を開催しました！

6月3日(火)、第3回のサポーター会議を開催し、知事らが5月に訪問したオーストラリアの民間空港における取り組み事例紹介や新千歳空港などの関係者を招いて「空港が拓く地域の未来」と題したパネル討論などを行いました。



村井知事による先進地取り組み事例紹介



パネル討論の様子

サポーター会員募集!!

サポーター会議では、仙台空港および空港周辺地域の活性化に向けて自主的に取り組んでいた方々(※法人・個人を問いません)を募集しています。

お問い合わせ 県富県宮城推進室

仙台空港 サポーター会議 検索

ブランド確立へ「空の足」強化

東北観光推進機構 推進本部長
小野 晋さん



「東北がアジアの活力を取り込むために、仙台空港の魅力向上と路線増は欠かせません。推進本部長(東北経済連合会理事)として、東北観光の戦略的振興を図る立場から、仙台空港の民営化に大きな期待を寄せた。

「外国人も含めて東北に来てもらうためには、仙台を起点とした『足』を確保する必要があります。東京が起点では時間がかかり、東北での滞在日数が少なくなり観光波及効果が広がりを欠いてしまう。空港の民営化によって民間の柔軟な工夫とアイデアが生かされれば路線拡大は十分に可能だと思います」

機構は、東日本大震災を乗り越え、新たな東北の広域観光エリアを創造しようと本年度を初年度とする3カ年の中期計画を策定。国内外の人々に明確な東北のイメージを持ってもらうため「東北ブランド」の確立と、統一テーマに基づく情報発信の継続を目標に掲げた。

「いま海外で起きている北海道ブームは、戦略的プロモーションと航空路線確保の両面から取り組んだ結果と言われています。東北観光を過渡性ではなく、持続的に盛り上げて観光客を増やしていくためには、東北ブランドの確立と足の強化が不可欠です」

東北を代表する玄関口として、空港のソフト機能充実にも期待する。

「東北の地場産品や食べ物の魅力を味わえる場所になってほしい。販路拡大、海外進出を目指す企業が市場リサーチできる空港であれば、経済活性化にも結び付きます」

県からのお知らせ

宮城県職員採用試験 (大学卒業程度・民間企業等職務経歴者)

民間企業などで培った土木に関する知識・経験を県政に活かし、活躍できる人材を求めています。

- 職種・採用予定人員/土木・10人程度
- 給与・待遇等/県の規定による
- 申込受付期間/8月8日(金)～29日(金)(消印有効)
- 第一次試験日/9月21日(日)
- 受験申込書/県庁1階総合案内などで配布

◎県警察本部警務課 022(211)3761

<http://www.pref.miyagi.jp/site/saiyou/>

宮城県警察官採用試験

- 職種・採用予定人員/①警察官B(男性)・70人程度②警察官B(女性)・10人程度
- 給与・待遇等/県の規定による
- 申込受付期間/8月1日(金)～29日(金)
- 第一次試験日/9月21日(日)
- 受験申込書/県警察本部警務課、県内各警察署、県人事委員会事務局などで配布

◎県警察本部警務課 0120(204)606

<http://www.police.pref.miyagi.jp/>

妊婦健診を受けて 「母子感染」を予防しましょう

何らかの微生物(細菌やウイルスなど)がお母さんから赤ちゃんに感染することを「母子感染」といいます。

妊婦中は、免疫力が低下して感染症にかかりやすくなっており、細菌、ウイルスなどが

妊婦中のお母さんに感染すると、おなかの赤ちゃんに影響が起きることがあります。

お母さん自身の健康状態を確認するとともに、赤ちゃんへの感染を防ぐためにも、妊婦健診は必ず受けましょう。

妊婦が分かったら、産婦人科、市町村の母子保健担当窓口、最寄りの保健所などへご相談ください。

◎県子育て支援課 022(211)2633

福島原発事故に伴う 損害賠償説明会および 個別相談会

- 内容/東京電力東北補償相談センター担当者による損害賠償請求手続きの説明および個別相談
- 対象/県内の法人・個人事業者、個人など
- 日時/場所/①7月14日(月)・県石巻合同庁舎②7月16日(水)・県東部合同庁舎③7月22日(火)・県大河原合同庁舎④7月24日(木)・県登米合同庁舎⑤7月30日(水)・県仙台合同庁舎⑥8月1日(金)・県気仙沼合同庁舎⑦8月5日(火)・県大崎合同庁舎⑧⑨⑩いずれも午後1時～4時30分
- 申し込み/①②⑦月8日(火)③⑦月11日(金)④⑦月15日(火)⑤⑦月22日(火)⑥⑦月24日(木)⑦⑦月28日(月)までに、所定申込書に必要事項を記入し、ファクシミリ、Eメールまたは郵送(必着)により下記へ
- 申込書/ホームページからダウンロードまたは県の各合同庁舎で配布

◎県原子力安全対策課 022(211)2340

FAX022(211)2695

Eメール gentai@pref.miyagi.jp

〒980-8570(所在地記載不要)

県原子力安全対策課

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gentai/>

知事公館の貸し出しのご案内

知事が賓客のおもてなしなどに使用している知事公館を有料で貸し出し(要予約)します。

- 所在地/仙台市青葉区広瀬町5-43
- 使用目的/結婚式・誕生会などのお祝い事やお食事会など(営利目的、政治・宗教活動、軍事などの使用は不可)
- 対象日/原則、年末年始を除く土曜・日曜
- 貸出時間/原則、午前9時～午後9時のうち、7時間30分以内
- 使用料/1日6万6920円(光熱水費別途、4時間以内は3万3460円)
- ※上記以外の日時での貸し出しや見学(無料)をご希望の場合は、事前にお問い合わせください。

◎県総務課 022(211)2212

<http://www.pref.miyagi.jp/site/gvroom/koukan.html>

性暴力被害相談支援センター宮城

県では、性的な暴力により被害を受けた方を支援するため、「性暴力被害相談支援センター宮城」を開設しています。相談は無料、秘密は厳守されますので、一人で悩まず、まずはご相談ください。

- 支援内容/電話相談、面接相談、医療機関などの付き添い支援、性感染症検査費用の助成など
- 電話受付時間/月曜～土曜(祝日・休日・年末年始を除く)午前10時～午後8時(土曜は午後4時まで)

[相談機関]性暴力被害相談支援センター宮城 0120(556)460(けやきホットライン)

<県内限定のフリーコール>

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gentai/>

◎県共同参画社会推進課 022(211)2567

企業向け「採用力向上セミナー」 参加者募集

- 内容/企業の魅力の発信方法、採用試験・面接手法、内定者フォロー方法などに関するアドバイス
- 対象/定員/県内企業の経営者、人事担当者・各回20人(先着順)
- 日時/①7月24日(木)②7月25日(金)
- ①②とも午後1時30分～4時30分
- 場所/①県石巻合同庁舎②県庁
- 費用/無料
- 申込方法/企業名、参加者の所属、氏名、電話番号、参加希望日時(複数選択可)を記入し、ファクシミリまたはEメールにより下記へ

◎県産業人材対策課 022(211)2764

FAX022(211)2769

Eメール sanzinp@pref.miyagi.jp

新規高卒者合同企業説明会

平成27年3月卒業予定の高校生および高等学校の教諭を対象に、県内の高校生の採用を予定している企業などの合同説明会を県内6地区で開催します。

- 内容/企業と教諭の就職相談会、高校生への企業説明など(参加無料・入退場自由)
- 日時/場所/①7月11日(金)・仙台市体育館②7月16日(水)・石巻市総合体育館③7月17日(木)・気仙沼市総合体育館④7月23日(水)・塩釜市体育館⑤7月29日(火)・ホワイトキューブ(白石市文化体育活動センター)⑥7月30日(水)・大崎市古川総合体育館⑦7月31日(木)・仙台市体育館⑧午後0時30分～3時30分⑨午後1時～4時⑩午後1時30分～3時30分⑪午後1時～3時45分⑫午後0時30分～4時
- 申込先/各学校
- ◎県雇用対策課 022(211)2772

東北放射光施設推進協議会 設立記念シンポジウム参加者募集

東北地方への設置が期待されている最先端の研究基盤施設「放射光施設」の概要などを県民の皆さんに幅広く知っていただくため、シンポジウムを開催します。

- 内容/講演「東北における加速器計画と成長戦略～東北放射光施設に期待するもの～」(講師:高エネルギー加速器研究機構名誉教授 吉岡正和氏)、講演「東北放射光施設構想の概要と計画推進について」(講師:東北大学教授 濱田幸氏)
- 定員/200人(応募多数の場合は抽選)
- 日時/7月18日(金)午後3時～4時45分
- 場所/ホテルメトロポリタン仙台3階「曜」
- 申し込み/7月11日(金)までに、申込書に必要事項を記入し、ファクシミリまたはEメールにより下記へ
- 申込書/ホームページからダウンロード

◎県新産業振興課 022(211)2721

FAX022(211)2729

Eメール shinsan@pref.miyagi.jp

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/shinsan/housyakou.html>

宮城県6次産業化サポートセンター

県では、6次産業化を目指す県内の農林漁業者などを支援するため、宮城県6次産業化サポートセンターを開設しています。支援は無料で受けられますので、お気軽にご相談ください。

- 支援内容/6次産業化に関する質問・相談の受け付け、専門家の派遣による6次産業化を進める事業計画の策定支援など
- 相談受付時間/月曜～金曜(祝日、休日、年末年始を除く)午前9時30分～午後5時30分

[相談機関]宮城県6次産業化サポートセンター 080(9370)7796

<http://www.6saop-miyagi.jp/>

◎県農林水産政策課 022(211)2242

職業訓練指導員試験(資格試験)

- 職種/全職種(123種)
- 試験科目/学科試験(指導方法)
- 対象/受験資格を有する方(技能検定合格者など)
- 日時/9月6日(土)
- 場所/県庁内会議室
- 受験手数料/3100円
- 申込受付期間/7月14日(月)～8月8日(金)
- 受験案内/下記または県の各地方振興事務所、各高等技術専門学校などで配布

◎県産業人材対策課 022(211)2763

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sanzin/minkan12.html>

女性医師による女性の健康相談

女性の健康増進や禁煙に関する相談、思春期や更年期に伴う身体的・精神的不調、家庭や職場でのストレスなどで悩んでいる女性の相談に応じます(完全予約制・相談無料)。

- 相談日/7月26日(土)
- 開催地域/石巻市
- 場所は予約時に伝えます。
- 予約先/090(5840)1993(月曜～金曜(祝日・休日は除く)午前9時～午後5時)
- ※予約は上記携帯電話のみで受け付けます。

◎県健康推進課 022(211)2623

7月は海岸愛護月間です

海岸は、人と海との触れ合いの場として、さまざまな用途に利用されています。利用する方々が増える一方で、環境の悪化も懸念されています。誰もが海岸を気持ちよく利用できるよう、ごみを捨てたり、勝手に土地を占有したりしないようにしましょう。

◎県環境政策課 022(211)2242

また、海岸で遊ぶときには、事前に避難ルートを確認し、地震や津波の情報に注意して、安全に、楽しく利用しましょう。

◎県河川課 022(211)3172

第7回「みやぎ優れモノ(もの)」 製品募集

県内企業が製造する優れた工業製品を認定し、県内外に広く発信していく「みやぎ優れモノ」製品を募集します。

- 対象/県内で生産される工業製品
- 応募資格/県内に事業所を置く企業など
- 応募説明会/8月6日(水)午後1時～3時
- 募集期限/8月8日(金)(必着)
- 応募方法/所定の申請書に必要事項を記入し、下記事務局へ郵送、または持参

◎みやぎ優れモノ開発推進事務局(みやぎ工業内)

022(777)9891

〒981-3206 仙台市泉区明道2-2

<http://www1.odn.ne.jp/m-suguremono/>

◎県新産業振興課 022(211)2722

宮城県消防操法大会をご覧ください

県内各地域の消防団の代表が、消火活動で使用する「ポンプ車」および「小型ポンプ」の取り扱いや消火活動における動作の速さと正確さを競う、消防操法大会を開催します。一般の方も見学できますので、ぜひご来場ください。

- 内容/操法競技①ポンプ車操法の部②小型ポンプ操法の部
- 日時/7月27日(日)午前8時30分～午後1時
- 場所/県消防学校
- 費用/申し込み/無料・不要

◎県消防課 022(211)2373